



陳情第 3 号

【件名】 現行の健康保険証の存続を求める意見書を国に提出することを求める陳情

【要旨】 改正マイナンバー法を見直し、現行の健康保険証の存続を国が実行するよう市議会から意見書を国に提出することを求めます。

【理由】 令和5年6月2日に、今年の12月2日には現行の健康保険証を廃止して「マイナ保険証」に一本化する法案が可決成立しました。

現行の健康保険証の廃止は、取得が任意であるはずのマイナンバーカードを事実上義務化させることになり、選択の自由と国民皆保険制度を壊しかねません。

国民皆保険制度は、「いつでも」「どこでも」「だれでも」、日本国内で等しく医療が受けられる制度です。この制度の存続を多くの国民は願っています。

健康保険証を廃止し、「マイナ保険証」を取得しない国民は「資格確認書」が交付されるのですが、今後「資格確認書」を申請しなければ公的医療が受けられなくなる心配があります。

今年の5月末現在、「マイナンバーカード」の保有者は、国民の約73.8%で、そのうち「マイナ保険証」での受診者は7.73%にすぎません。約92.27%の国民はマイナ保険証を利用していないことになります。

現行の健康保険証は原則交付とし、マイナンバーカードを保険証として使うかどうかは一人ひとりの選択にするべきです。

したがって、和光市議会として地方自治法第99条の規定により、現行の健康保険証の存続を求める意見書を国に提出することを求めます。

令和6年8月20日

和光市議会議長 安保友博様

陳情代表者

住所 和光市 [REDACTED]

氏名 [REDACTED]

住所 和光市 [REDACTED]

氏名 [REDACTED]

住所 和光市 [REDACTED]

氏名 [REDACTED]

住所 和光市 [REDACTED]

氏名 [REDACTED]

ほか署名者 593名